

米原子力空母の交代について

本日、外務省から、横須賀基地を事実上の母港としている米原子力空母の交代について情報提供があり、外務省に対して申し入れを行い、併せて、知事コメントを別添のとおり発出しましたのでお知らせいたします。

1 外務省からの情報提供の概要

- ・ 4月27日、米側から、空母「ロナルド・レーガン」が大規模メンテナンスのために米国へ移動し、代わりに平成 27 年まで我が国に前方展開していた空母「ジョージ・ワシントン」が再び前方展開することになった旨の通報があった。
- ・ 空母「ロナルド・レーガン」は、令和6年春を目途に横須賀を出港し、空母「ジョージ・ワシントン」は同年後半に横須賀に入港する予定。
- ・ 今回の交代に当たり、空母の推進機関に変更はなく、追加的な工事は無い見込みであり、引き続き第5空母航空団が前方展開される。
- ・ 米国政府がこれまで表明してきた安全性に関するコミットメントについては、今般の空母交代によっても変わらず堅持されるとの説明を受けている。
- ・ 空母が交代する理由は、米軍が、艦船の海外に前方展開する期間を 10 年までとするべきと定めているため。(ロナルド・レーガンは、令和6年春時点で8年半経過)

2 県として外務省に口頭で要請した事項

- ・ 空母交代に関する適時適切な情報提供
- ・ 国による放射能調査等を通じた安全航行確認体制の確保
- ・ 必要な訓練等の防災対策の確実な実施
- ・ 新規配属要員の服務規律の確保
- ・ 空母艦載機等を含めた部隊の運用により県内基地周辺住民への影響が生じることがないよう、万全の対策を講じること

問合せ先

神奈川県政策局基地対策部基地対策課
課長 館野 電話 045-210-3370
課長代理 小泉 電話 045-210-3375

米原子力空母の交代に関する知事コメント

令和5年4月28日

- 本日、横須賀基地を事実上の母港としている米原子力空母「ロナルド・レーガン」が大規模なメンテナンスのため、令和6年春頃を目途に横須賀を出港し、代わりに原子力空母「ジョージ・ワシントン」が同年後半に横須賀に入港する旨、外務省から情報提供がありました。
- 原子力空母の交代にあたっては、基地周辺住民の方々の安全が完全に守られることが必要であり、また新たな要員の配属も想定されることから、事件・事故防止のための取組も重要です。
- そこで、本日、空母交代に関する適時適切な情報提供とともに、国による放射能調査等を通じた安全航行確認体制の確保、必要な訓練等の防災対策の確実な実施、新規配属要員の服務規律の確保等を国に申し入れました。
- 県民の皆様の安全・安心のため、引き続き、関係自治体とも連携し、国に対して万全の対策を求めています。

(問合せ先)

神奈川県政策局基地対策部基地対策課

課 長 館野 電話 045-210-3370

課長代理 小泉 電話 045-210-3375